

義肢装具教育における ケース・スタディ手法に関する研究

新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科
坂井一浩, 大塚 博

1. 研究の背景

医療福祉従事者が現場において求められる能力は、単に専門技術や知識を有するというだけでなく、現場において起こる、予期しない様々な問題に対する対処能力や、これを多職種間で効率よく行うためのコミュニケーション能力である。従って各専門職の教育においては、個々の学生が受動的に専門技術と知識を学ぶだけでなく、それらを能動的かつ有機的に応用し、対象者の個別条件や個々の問題に対応しうる能力を開発するためにデザインされた科目の設定が必要である。これを行う教育手法として Case method, Problem Based Learning, Teaching with cases, Case Oriented Learning, (以下、これらを包括し“ケース・スタディ手法”とする) などがあり、医学教育に限らず、経営学などの社会科学領域においても広く活用されている。一方、義肢装具教育(以下、P0 教育)におけるケース・スタディ手法の導入・実践例は英国やスウェーデンなどに散見される程度で、本邦では報告されていない。

2. 研究の目的

本研究の目的は、学士課程における P0 学生の実践的なスキル開発を行う教育手法として“ケース・スタディ”に着目し、これを P0 の業務や教育の特殊性など、固有の条件に合致した形で確立しようとするものである。

3. 研究の流れ

本研究の流れを以下の図1に示す。

上記「2. 研究の目的」を本研究の大目的とし、これを達成するために、研究過程において段階的な中間目的をそれぞれ設定した(フローチャート中(1)～(5))。

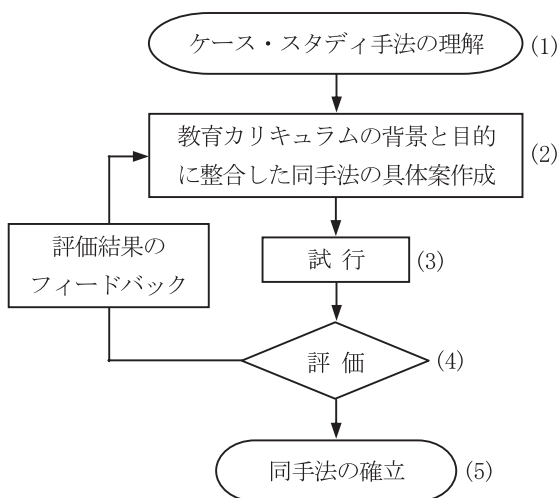


図1: 研究の流れ

4. 本稿の目的

本稿の目的は、本研究に設定された複数の段階的の中間目的のうち、特に(1)について述べることである。具体的には、“ケース・スタディ”に関する一般概念の理解を目的として情報収集を行うとともに、結果から、教育手法としての利点や限界などについて把握することとする。

5. 情報収集の方法

インターネット (Google) により、キーワードとして “health care professions” を、また、フレーズとして “teaching with cases” を用い検索を行った。結果、169件が該当した。各ウェブの内容を示す注釈文から判断し、教育手法に関連するもののみを抜粋した。さらに、“教育機関” や“教育センター” など、教育に関わる組織あるいは個人によって提供されているものに限定した。

6. 結果

検索結果から、本手法の概念や教育手法としての利点について言及したものを例として以下に示す。

- ・ ケース・スタディの中心は学生である (Grant, 1997)。
- ・ ケース・スタディにおける教員の役割は、単に知識や理論を並べるだけの“機械”ではなく、個々の学生のベストを引き出す、いわば“オーケストラの指揮者”である。また、学生には、ただ単に理論を学ぶことが求められるのではなく、その理論を“複雑な問題の解決”に応用する力が求められる (Ann D. Velenchik, 1995)。
- ・ ケース・スタディでは、学生は能動的に知識を発見し、構築する。教室で教員の話を受動的に聴く授業より学習効果が高い (John Boehrer, 1994)。
- ・ 本手法による“能動的な学習 (active learning)”は、講義形式の授業と比較し、学生の理解力を高め、記憶として定着する (John Seely Brown, 1995)。
- ・ 学生は、ケース・スタディを通して、卒業後の現場でのチーム・ワークにおいて求められる能力、すなわち“対人力 (interpersonal skill)”を構築することができる (Anderson, 1992)。

上記の他、医療専門職教育における本手法の活用目的を述べたもの、ケースの難易度設定や学生評価の基準設定などについて言及したものなどが散見された。また、学生グループの理想的な人数設定や、学習目標に関する教員からの明確な説明など、教育内容だけでなくコース設定と運営上の留意点について指摘したものがあった。

7. 考察

情報収集の結果から本手法は、講義形式の授業と対峙する、学生を主体とした“active learning”を基本概念としていることがわかった。このことは、懐疑的にみれば、学習到達目標設定や学生のセッションへの関与度などについて不明確になる恐れがあることを示唆している。また、各学生グループのファシリテータとして関与する複数の教員間の、“セッションのねらい”に対する認識の共有が必須と考えられた。